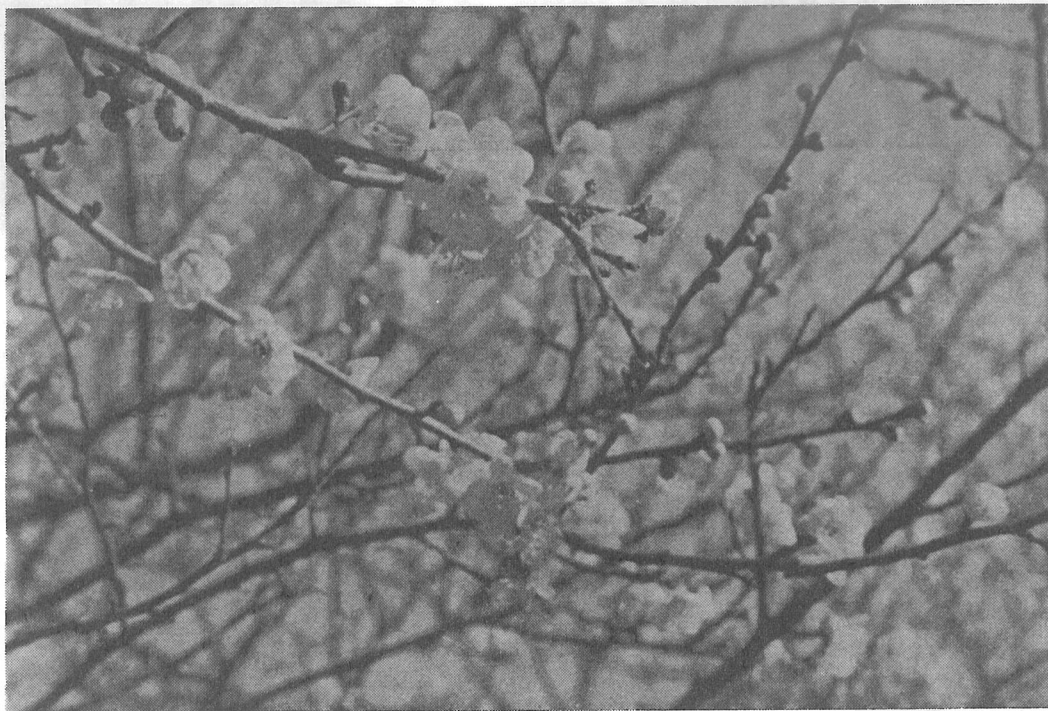


発行所
光町役場
匠瑤郡光町宮川5,454の5
電話 (04798) 2-1211(代)

町の状況
人口 11,716人
世帯 2,505世帯
面積 33.40平方キロ



陽春に映える白梅

ミノルタSR=7. F11. 1/250

「梅」

こち
東風吹かば

匂ひおこせよ梅の花

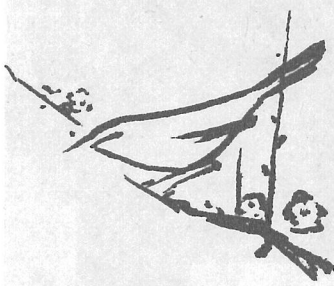
あるじ
主人なしとて春な忘れそ

早春、葉に先だち花を咲かせる梅は人々の目を楽しませてくれます。花は五弁で香気が高く色は白、紅、薄紅と三色あり一重咲と八重咲があります。

梅はバラ科の落葉喬木に入り原産地は中国です。梅は結婚式等のおめでたい時に松、竹と並んで用いられ昔から慶びの花ともされています。近頃ではウグイスのあの美しい鳴声もあまり聞かれなくなり淋しく感じられます。

梅の木枝でうぐいすが

春が来たよと歌います



ホーホー

ホケキヨ

ホー

ホケキヨ

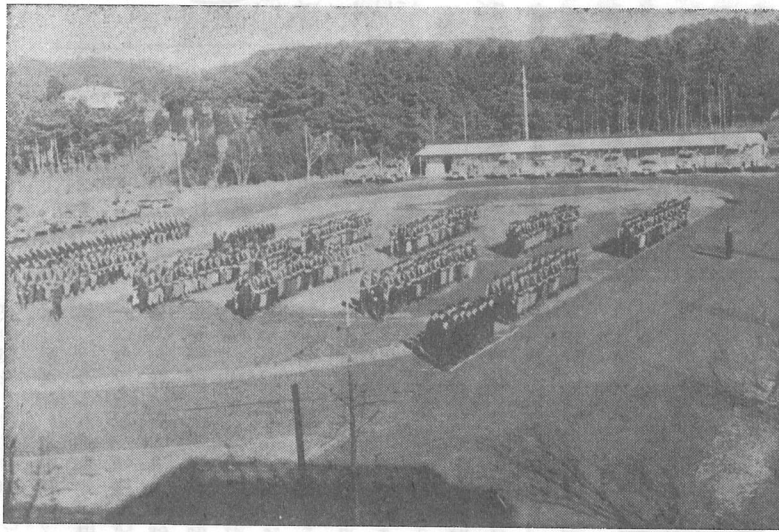
「初春の花」

消防団出ぞめ式

一月十四日中学校で

恒例の消防出初式が一月十四日午前九時から中学校グラウンドで行なわれました。

当日は快晴にめぐまれ消防団員四百名、婦人防火隊員百五十名が参加、分列行進、ボンブ操作など日頃の成果を披露し『町を守る』消防団員として堂々の行進をしていました。表彰式では、永年消防団員として活躍された方々、消防協力者などが表彰されました。



号令、一糸みだれぬ整列

- (知事功労章) 土屋 政治
- 副団長 佐久間 正 貴
- (知事精勤章) 第二分団長 水須 辰 雄
- 中央分団長 向後 禧 一
- 第六分団長 鶴ノ沢 勇
- 副団長 花沢 孝 一
- (県消防協会功労章) 本部付部長 向後 正 豊
- (県消防協会精勤章) 本部付部長 飯田 正 己
- 第三分団長 鈴木 健
- 第五分団長 仲村 巖
- 第七分団長 伊橋 秀 夫
- (海匠支庁長表彰) 第四分団長 伊藤 勘 治
- 第八分団長 伊藤 敬 止
- 本部一号ボンブ長 椎名 由 郎
- 本部二号ボンブ長 平山 栄 弘
- 第七分団第三部長 大木 弘
- (東総地区支部協議会長表彰) 第二分団第二副部長 森 善 夫
- 第三分団第四部長 須合 平
- 第五分団第一部長 大木 大 助

- 第七分団第四部長 川野 喜 久
- 第八分団第一部長 伊藤 一 郎
- 第一分団第二部長 岡島 章 治
- (海匠支部長表彰) 第一分団第三部長 関口 旭 次
- 第二分団第二部長 鈴木 巖
- 第三分団第三部長 越川 勝 利
- 第四分団第二部長 並木 正 就
- 第五分団第四部長 伊藤 晃
- 第七分団第一部長 平山 和 敏
- 第八分団第二部長 実川 正 義
- 第三分団第一部長 伊藤 博 司
- 第四分団第三部長 伊藤 照 明
- 第七分団第二部長 市田 政 治
- (海匠支部協議会長表彰) 中央分団第二部長 小林 利 明
- 中央分団第三部長 大木 秀 雄
- 第一分団第一部長 行木 清
- 第二分団第一部長 森 真 敏
- 第三分団第三部長 佐々木 明
- 第四分団第一部長 古郷 喜 男
- 第四分団第二部長 野村 武 雄
- 第五分団第三部長 越川 俊 雄
- 第六分団第一部長 林 登 男
- 第六分団第二部長 竹内 和 夫



婦人防火隊堂々の分列行進

- 第六分団第三部長 伊橋 友 夫
- 第七分団第四部長 山本 武 夫
- (町長表彰) 本部第一号
- 第三分団第四部
- 第五分団第一部
- 第五分団第二部
- (消防団長表彰) 第一分団第一副部長 平山 春 信
- 第一分団第二部 実川 武 夫
- 第一分団第三部 関口 貞 雄
- 第二分団第一部 大川 宏
- 第二分団第二部 鈴木 千 秋
- 第二分団 鈴木 欣 作
- 第二分団 大木 寛 治
- 第二分団 土屋 孝 治
- 第五分団第四部 越川 昌 光
- 第七分団第一副部長 吉田 二 三 男
- 第七分団第三部 早川 辰 雄
- 第七分団第四部 片岡 美 夫
- 第八分団第一部 向後 栄
- 第八分団第二部 神田 甲 子 悦
- 第八分団第一副部長 伊藤 忠
- 第八分団第一副部長 伊藤 博 行
- 新井 一〇六七 中川 清
- 木戸 九五四一 宮本 武 之 利
- 木戸 九五九一 向後 栄 治
- 白浜婦人防火隊長 椎名 なつ へ
- 篠本二区婦人防火隊長 大木 ちよ
- 白浜地区婦人防火隊長 伊藤 美 子
- 仲村 秀 子
- 伊橋 美 代 子
- 仲村 す い
- 山崎 ト ヨ
- 伊橋 よ ね
- ほかに感謝状が次の方々に送られました
- 光町 株式会社 伊勢化学工業
- 八日市場市 光町工場
- 光町 笠井商會
- 光町 加瀬 国 士
- 光町 齊藤 喜 雄
- 光町 鈴木 昭 太郎

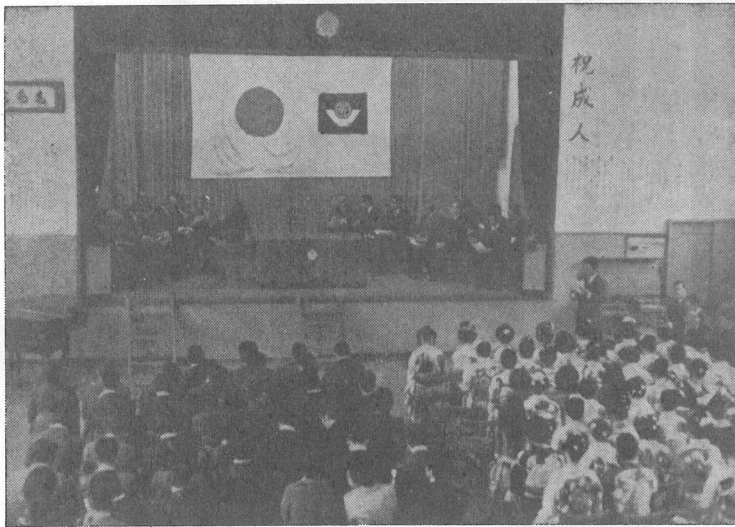
成人おめでとう

二百四十九人が仲間入り

一月十五日午前九時三十分から東陽小学校体育館において恒例の成人式が行なわれました。当日はあいにくの雨でしたが多数参加しふりにあった友達と手を取りあったりして話しが絶えないようでした。

町長さんを始め多数の来賓から祝福を受けおめでとうの言葉に達した喜びをかみしめていました。

民法第三条、『満二十年ヲ以テ成年トス』、にあるようにこれからは自覚と責任をもって立派な大人として行動して下さい。



おめでとう仲間入り

雨に洗われて大人にスタート



成人の日の十五日、全国で百九十三万人が晴れて大人の仲間入りをしたとか？

選挙権をはじめとする国民としてのいろいろの資格と責任をもち社会を構成する一員としての出発をしたのです。

これからの私達はひろい視野にたったものの見方をし、建設的な意味での批判的精神を養い持ち続けなければならないわけ

篠本七三三

大木初枝

です。又一人一人の独立した人間として、平和を愛する国民として、勇気と良識をもった社会人として歩んで行かなければならないはずで。

さらに選挙権を持つにあたって視野を広め、選挙本来の姿はどうあるべきか、原点に立ち見つめ、自覚した責任の持てる行動周囲の人の意見等に左右されない勇気を持ち続けたいと思います。

民生委員・母子推進委員

改選される

昨年十一月三十日で、任期満了の民生委員(児童委員)母子推進員に次の方々が、再任あるいは、新任されました。

民生委員(児童委員)

(昭和四十六年十二月一日付)

- 篠本一區 宇井 一新
- 新井 杉山 まさ新
- 二又 布施 喜一再
- 芝崎 岩沢 彦夫再
- 小川台 鈴木 正三新

- 虫生 深田 左京再
- 宮内 橋浦 寛照再
- 古屋 水須 忠治再
- 橋場 向後 忠一再
- 西高野 鈴木 八郎再
- 原方 鈴木 ゆき新
- 木戸 大木 四郎再
- 五之神 伊橋 茂新
- 尾垂五区 伊藤 喜一再
- 尾垂六区 岩沢 操再
- 白磯 小林 喜雄再
- 白磯 伊藤 真一再
- 関 向後 誠二再

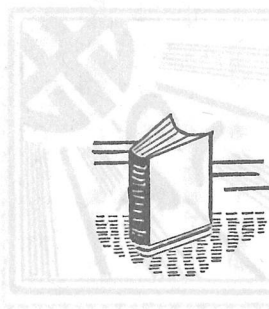
今月の行事予定

- 二月十五日 定例農業委員会議
- 二月十六日 民生委員協議会
- 二月二十日 武道館落成記念大会
- 二月二十一日 県営住宅入居説明会
- 二月二十二日 防火防犯パレード
- 二月二十三日 行政相談

母子推進員

(昭和四十六年十二月一日付)

- 篠本三區 越川 光子再
- 新井 杉山 まさ再
- 小川台 須合 さと再
- 傍示戸 斉藤 ひで再
- 作間内 向後 清再
- 橋場 鈴木 つね再
- 谷中 越川 恒子再
- 木戸 大木登代子再
- 尾垂五区 伊藤 クニ再
- 関 椎名 さと再



国をささえる若い力

あなたも自衛官に

○若いエネルギーを思いきり発揮
できます。

○健康な、充実した生活を送れま
す。

○使命に生きる喜びを味わえます
。

○自然に親しみ、技術を学べます
。

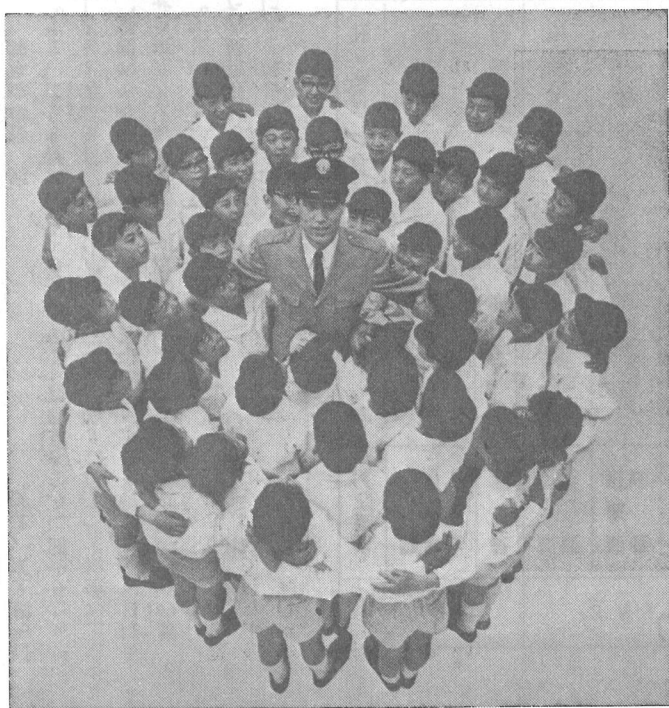
若いあなたにお知らせします。
日本の平和を守る大きな任務をも
ち、しかも入隊しながら技術の習
得ができる自衛隊に入ります。

か
民間の景気に左右されない安定
した仕事でもあり、国家公務員と
して給料、諸手当等が保障されて
います。

いつでも希望する月に入隊でき
ますから、一度ご相談ください。

受付は役場住民課か、旭市口の
六二七(電話〇四七九六)六四〇

三)自衛隊千葉地連東部地区隊へ
どうぞ。



気圧の配置が、西高東低になる
冬は、東日本ではカラッ風が吹
き、空気が乾燥しきって、火事が
起りやすい季節です。
光町の昨年一年間の火災は十四

みんなの善意

歳末たすけあい目標達成

幸せうすい人々がみんなそろっ
て明るく、あたたかいお正月を迎
えていたと、昨年十二月一
日から実施した、歳末たすけあい
募金もみなさんの御協力により目
標額をはるかにこえる成績を収め
ることができました。ほんとうに
ありがとうございます。

寄せられたお金や品物は昨年春
寒さを迎えて困っておられるかた
がたに明るく暖かいお正月を迎え
ていただくためお送りいたしまし
た。
寄せられた善意は次のとおりで
す。
部落募金 二三四、五〇〇円
議会議員一同 一八、〇〇〇円

- 役場職員一同 一七、九五〇円
- 実川メリヤス社員一同 一三、〇〇〇円
- 伊勢化学(株) 一〇、〇〇〇円
- 伊勢化学(株) 社員一同 一、三〇〇円
- 広瀬製作所社員一同 一〇、八〇〇円
- 匝瑳市市歯科医師会 一〇、〇〇〇円
- 光町青年クラブ 二、一五七円
- 合同資源(株) 三、〇〇〇円
- 畔蒜工務店社員一同 四〇、六一〇円
- 新英紙工所職員一同 二、〇〇〇円
- 尾垂、伊藤熊吉 二、〇〇〇円
- 光楽園老人ホーム職員一同 洗剤 七〇箱

件で、八日市場市二十六件野菜町
五件、横芝町九件に比べ多くなっ
ています。

「たき火のあと始末は……」
「ガスの元栓は……」 「風呂の
カマドは……」おやすみ前にもう
一度たしかめましょう。
子供のいる家庭では、マッチや
燃えやすいものは、手のとどかな
いところへ片づけましょう。

「あのときもう一度たしかめて
おけば……」全財産が灰になって
からくやんでも、取り返しはつき
ません。

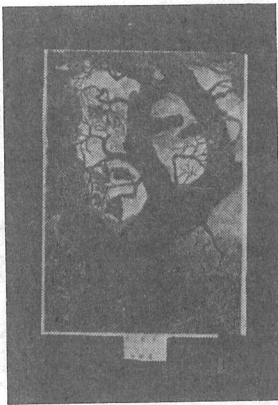
老人性白内障の 手術に補助

老人性白内障にかかり、目の不
自由な人が開眼手術をする場合、
その手術に必要な経費のうち、自
己負担額相当額を公費補助をいた
します。これは目の不自由な老人
の福祉向上を図る目的で作られた
制度で支給を受けようとする者が
申請した申請書にもとずいて町が
実施主体となって支給するもので
す。支給対象の条件は原則として
同居の生計中心者が所得税を課さ
れていない世帯に属する六十五才
以上の者で老人性白内障に罹患し開
眼手術の可能な者となっております
ので、くわしい事は厚生課福祉
係(有線二〇四〇〇)へ相談下
さい。

「心配ごと相談」

二月の相談日は次のとおり
です
お気軽にご相談下さい
期日 16日・23日
時間 午後一時から午後三時三
十分まで
場所 橋場青年館

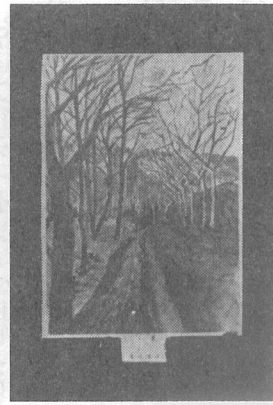




古 木
光 中 2 年
布 施 俊 一



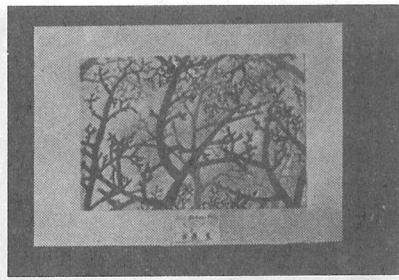
川 岸
光 中 2 年
鈴 木 靖 子



小 道
光 中 3 年
落 合 浩 治



学 校 の 池
光 中 1 年
若 米 朋 子



梅の木からのデザイン
光 中 3 年
斉 藤 薫

よこ子の作品!

光中学校生徒

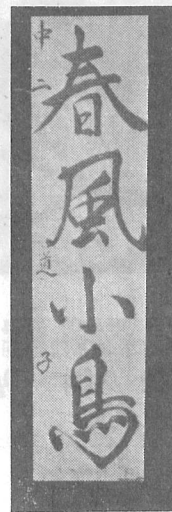
この作品は十二月二十五日、二十六日、二十七日の三日間に
わたり八日市場第二中学校を会場に行なわれた郡美術展覧会に
出品し優秀な成績を収めた光中学校生徒の作品の一部です。

ねんきん
豆辞典

〔保険料の納付〕
将来の保険料をまとめて納める方法で、一年前納と二年前納があります。
毎月あるいは三か月ごとに納める手数がはぶけ、しかも割引があります。
保険料を納め忘れると、万一のときに障害年金や母子年金などが受けられない場合がありますが、前納なら安心です。
来年度は、第一期分を納める前に、この前納を利用しましょう。



光中三年
伊 予 一 美



光中二年
海 保 道 子



光中一年
伊 藤 幸 一

所得税、事業税、住民税、の申告と納税のお知らせ

ことしも所得税、事業税、住民税などの申告の時期になりました。申告の期間は二月十六日から三月の十五日までです。

◆忘れずに申告いたしましょう

◎所得税の申告について

一、確定申告用紙の送付をうけた

◎住民税、事業税の申告について

一、所得税の確定申告書を提出するかたは、住民税や事業税を提出する必要はありません。

二、住民税、事業税の申告書の提出先は

住民税申告書は、光町役場

事業税申告書は、海匠支庁へ

それぞれ提出してください。

所得税、事業税、住民税の申告説明会は

二月十六日午前十時から

八日市場市公民館で

贈与税の相談は

二月二十一日から二月二十五日まで

で銚子税務署で

住民税、事業税の納税相談は、

税金のしおり

正しい税の申告を

所得税

事業税

住民税

二月十六日～三月十五日まで

かたは、かならずその用紙を使って自分で記入してください。

二、所得税の還付をうけるための申告はなるべく二月末ごろまでに行ってください。

三、所得税を三月十五日までに完納できない事情があるかたは、五月三十一日までの延納制度がありますから税務署に相談してください。

三、住民税、事業税の納税は？

住民税、事業税の納税はあとで「納税通知書」によりおさめる金額や、おさめる期日を通知いたします。

申告書の書きかたのわからないかたは近くの、所得税、事業税、住民税の説明会の会場において下さい。

二月二十八日と二月二十九日に

八日市場市公民館で

納税日

ぼくの父さん

一番のり

県町民税申告説明会日程

3月2日			3月1日			2月29日			2月28日				
尾垂五区	関木辻戸	長塚	原篠方原	西桑高野郷	古宮作間屋内内	富小川台	小川台	台	母子	宝米	篠本三区	篠本一区	部落名
新隆寺	白浜公民館	青年館	篠原青年館	西高野協同館	青年研修所	青照院	青年館	青年館	集会所	明光院	青年館	集会所	場所
尾垂六区	白磯	五ノ神	谷中	入	橋場	虫生	傍示戸	小田部	芝崎	二又	新井	篠本二区	部落名
ひかり荘	青年館	公民館	集会所	青年館	青年館	青年館	西蓮寺	西蓮寺	西蓮寺	青年館	協同館	公民館	場所

編集だより

暦のうえで立春も過ぎこれからは日、一日と暖かくなってきます地上の生物すべてが動き始め活気があたり一面にみなぎり春運しと待ち構えています。

ひかり広報もまた皆様と共にこの光町に根をおろし町発展のため邁進して行きたいと思っております。この広報公聴活動をより充実させるため皆様方からの町への要望、意見、体験談、自慢話等としどしお送り下さいお待ちしております。

宛 役場総務課